

令和8年度 中の島中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：35008

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
◇R7 全国学力・学習状況調査の生徒質問紙より、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」という点については全国平均をやや上回る結果となっている。「自ら課題を見つける力」については、学校でのさまざまな場面における課題探求的な学習（キャリア教育、文化祭での活動など）が効果的に生かされていると考える。	◇札幌市の共通指標アンケート(学習などについてのアンケート)から、「学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の数値が全国平均レベルにとどまっていることについて、学んだものを次の課題解決に生かしたり、広げたりする力に課題があることがわかった。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇共通指標の相互承認感度の関連項目において、肯定的な回答が全市と比較しても高い傾向にある。これは、全国学力・学習状況調査でも同様の結果が出ている。一方で、依然自己承認の分野では肯定的な回答が低い傾向にある。確かな学力や自己肯定感、有用感が獲得できる、取り組みと活動を実践していきたい。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

正しい知識の定着と活用、深くものごとを考え協働する力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探求的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<p>◇校内全体での見通しを意識した年間授業計画の構成 ⇒生徒がゴールへの見通しをもち意欲を掻き立てるような イントロダクションの構築 深く考えることを追求する リフレクションの実施</p> <p>◇系統的な総合的な学習の時間の実施 ⇒キャリア教育(職場体験・職業人講話)や プレゼンテーションの充実を図り、学年をまたいでのAAR サイクル視点に沿っての取り組みの推進</p>	<p>◇質の高いよりよい学校生活にするためのパートナー校との特別活動 ⇒質の高い学校生活にするためにはというテーマで児童・生徒 による、なかひらサミットの開催</p> <p>◇自分たち自身で創作表現活動の場の創出 ⇒文化祭(行事)、総合的な学習の時間などを通じて、より良い 表現に向けて、集団づくりを目指す。</p>

〈本プログラムの実行に向けて〉

